

3月定例会

問一般質問A答

一般質問議員と質問項目

■3月14日登壇

大橋 良一 議員

1. 市長「2期目2年」の市政運営の総括と向後の運営について

原田 建夫 議員

1. 梁川小学校建設促進について
2. 亜炭廃坑による陥没と沈下の対策について

菅野 富夫 議員

1. 除染の促進について
2. ホールボディカウンターでの検査促進について
3. 水稻の作付制限について

菊地 邦夫 議員

1. 国及び東電への賠償請求について
2. 伊達市復興計画について

佐藤 直毅 議員

1. 食の安心への取り組みについて
2. 避難者の帰還へ向けた取り組みについて
3. 放射能教育と学習指導要領改訂への対応について
4. 総合的な観光戦略と文化財等整備事業について

大條 一郎 議員

1. 成年後見制度への取り組みについて
2. 高齢者見守りネットワーク事業について
3. 再生可能エネルギーの導入拡大について
4. 放射線対策について

■3月15日登壇予定

佐々木 彰 議員

1. 放射能に関する測定と活用方法について
2. 放射性廃棄物の処理について
3. 伊達市に来てもらう取り組みについて

佐藤 実 議員

1. 東日本大震災から一年の総括と今後の取り組みについて
2. 伊達市がめざす教育について

安藤 喜昭 議員

1. 伊達市復興計画（素案）について
2. 活動拠点としての地区公民館について
3. 国土調査について

佐々木英章 議員

1. 伊達市復興計画（素案）について
2. 地域福祉計画策定について

小野 誠滋 議員

1. 福島原発事故による現時点の市長の考えについて

2. TPP（環太平洋連携協定）の市長の考えについて
3. 除染取組について

八巻 善一 議員

1. 伊達市立中学校における武道、ダンスの必修化について
2. 地域自治組織から地域交流センター構想について
3. 梁川小学校建設は高台に

■3月16日登壇予定

中村 正明 議員

1. 万が一への備えについて
2. 事業、施策の進め方について

丹治千代子 議員

1. 市民の健康・特に子どもと妊婦の健康について
2. 市職員の適正配置について
3. 伊達市の男女共同参画について

菅野 喜明 議員

1. 平成24年4月からの一般食品の暫定基準値1kgあたり100ベクレルという現実に向き合った農業政策（米、桃、あんぽ柿など）について
2. 健幸都市モデル地区事業の経過と今後の進め方について
3. 特定避難勧奨地点の経過、避難と補償、除染、仮置き場、健康管理、地域復興計画について

高橋 一由 議員

1. 震災・原発事故から1年目の総括について
2. 屋内遊技場等、放射線から市民を守る諸施策について
3. 長期化対策と「まちづくり」について

大和田俊一郎 議員

1. 伊達市除染計画について

松本 善平 議員

1. 果樹類の放射性物質汚染の実態と除染対策について
2. 梁川希望の森公園について

■3月19日登壇予定

半澤 隆 議員

1. 東日本大震災及び原発事故にともなう放射能汚染被害額の実態把握について
2. 小学校児童数減少にともなう学校運営について
3. 市職員の住民基本台帳等のデータベースの利活用について

平成24年第1回定例会一般質問通告者は19名で3月14日の質問者は6名、しかし14日夜半に市長緊急入院のため、翌15日全員協議会にて15日以降の一般質問通告者の質問は中止となりました。（質問予定議員は次のとおり）佐々木彰、佐藤実、安藤喜昭、佐々木英章、小野誠滋、八巻善一、中村正明、丹治千代子、菅野喜明、高橋一由、大和田俊一郎、松本善平、半澤隆以上13名でした。

■農産物・観光等の「風評被害」対策は



大橋 良一 議員

Q 本市の風光明媚な自然環境と文化・歴史遺産・四季の農産物又は、商工業等産業を固有の資源と財産として「風評被害」の払拭についての対策を伺います。

A 基幹産業である農産物関係については、徹底したモニタリング調査を行い、食品の新基準値100ベクレルを超えた品目は流通させない体制を整備の上、消費者にも発信をいたします。

又、観光資源対策は県・国等の関係機関と連携を密にして広域な復興キャンペーンに積極的に参加しながらマイナスイメージからの転換をするべく事業に取り組んでまいります。

「健幸都市推進事業」の進め方を問う

Q 「歩きたくなるモデル地区形成計画事業」として掛田・白根地区を計画選定されましたが、掛田地区に於いては住民説明会で計画イメージ図に十分な住民コンセンサスが得られず事業の進め方の見直しの声があるが除染と併せ、進め方を伺います。

A 放射能汚染処理が最優先の声が大であり、提案した一方通行は目的ではなく手段であり、住民の要望・意見を尊重して事業の再検討を行うとともに、除染処理も進めてまいります。

■梁川小学校建設について



原田 建夫 議員

Q 梁川小学校の移転改築は、検討委員会により蚕種試験場跡地が候補の一つとして答申されております。しかし、有志の人達から水害の危険性を心配する声があります。疲弊した街中の

活性化又、治安面等、総合的に適していると思うが市の考えを伺います。

A 内水対策については伝樋川排水機場と湛水防除、第2排水機場による内水の排除又排水ポンプ設置等によって実施しており、又水防団の内水排除も実施しています。更に伝樋川の改修は三倍の川幅で内水対策が強化されるものと、考えております。

亜炭廃坑による陥没と沈下の対応を問う

Q 梁川町大関字鹿ノ子地区に、亜炭採掘後が三月十一日の大地震によって陥没や沈下などの突然被害が発生し、生活道路、宅地、畑等であります。生命財産に重大な損傷が懸念されますので早急な対策への考え方は。

A 東日本大震災災害対策本部の前で、宅地災害の復旧に対する負担軽減、それから復旧工事に対する助成制度の創設などの要請を総務省、国土交通省に對し行う、又特に特定鉱害復旧制度の公害復旧資金を拡充し、被害に對応するように要請したところでありま。

3月定例会

平成24年第1回定例会は3月8日招集されました。市長から提案ありました案件は、専決処分報告2件、人事5件、条例制定2件、条例の一部改正12件、平成23年度補正予算15件、平成24年度一般会計及び特別会計当初予算25件、その他1件、決算認定2件の計64件でした。これらの案件は所管の常任委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案とおり可決しました。ほかに、議員発議による意見書3件が原案のとおり可決しました。

■条例

●伊達市復興きずな基金条例

復興きずな基金は、福島県市町村復興支援交付金を活用し、市の復興に係る事業経費に充当するため、新たな基金設置の条例を制定しました。

●伊達市暴力団排除条例

暴力団の排除を推進し、市民の安全と平穏な生活を確保するため新たに条例を制定しました。

●伊達市税条例の一部を改正する条例

地方税法及び地方法人特別税等に関する暫定措置法の一部を改正する法律並びに東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律等が公布されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

●伊達市防災会議条例の一部を改正する条例

水防法の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

■除染・WBC検査・水稲作付け制限を問う



菅野 富夫 議員

きます。仮置き場には小作料の五倍から十倍の借地料を払います。

Q WBC（ホールボディーカウンター）の検査結果を伺います。WBC購入時期はいつ頃ですか。どこに委託しますか。

Q 除染の促進や仮置き場の確保をどの様に進めるのですか。

A 一番高かったのは二ミリシーベルトでした。WBCは八月ごろ二台購入し、二つの病院に配置します。

すか。

A エリアを三つに分け、生活圏は二年で除染を進めます。仮置き場の件では説明会を開

Q 水稲の作付け制限による損害賠償は幾らになるのですか。作付け可能な所の全袋検査は、民間でなく公的な所で行うべ

きです。水田の除染では反転耕だけでなく、ロータリー耕では難しいのですか。市で独自に進めている土壌調査の状況を伺います。試験栽培についても伺います。

A 国は損害賠償をするとは言っていますが金額は示していません。全袋検査の詳細な考えは、国から示されていません。土壌調査は千件の調査になる見込みです。水田の除染では出来るだけの深耕を進めています。試験栽培は一農家一箇所で、三十平方メートルと国からいわれましたが、市ではもっと大規模な面積を交渉中です。

■歩行者に優しい道路整備事業について



菊地 邦夫 議員

Q 三月一日に保原小学校が開校しました。通学道路の安全確保についてどの様な対策を取っているか伺います。

A お質しの通学路の課題ですが、早々関係者が集ま

り、会議をいたしまして、信号機の時間の部分については改善をしていくこととなりました。通学路の指導体制については、学校でも体制を強化する、PTAでも協力する。伊達警察署についても体制を組むという事になりました。道路等についてもいろいろと今後交通規制等を考慮しなくてはならないだろうとのことで、今協議が進められているところです。

Q 高齢者が安心して街づくりの取り組みについて

A 市では、高齢者の日常生活において異変を察知した場合に連絡をいただき、迅速な保護と支援を行うことを目的といたしまして、本年一月に民間企業と協定を締結し、高齢者見守りネットワークの構築をいたしました。当初参加いただいた企業は、ヤマト運輸(株)と(社)福島LPガス協会東北支部保原方部会の二事業所です。問題の早期発見と安心して暮らせる街づくりを目指して今後も賛同いただける事業所団体と協定を結び、ネットワークの充実を図ってまいります。

●伊達市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

ラッパ隊組織体制確立による、条例の一部を改正しました。

●伊達市介護保険条例の一部を改正する条例

開業医の負担軽減及び第1号被保険者保険料の額を改定しました。

●伊達市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

児童福祉法の一部改正及び児童クラブの所在地の変更をしました。

●伊達市宮住宅等条例の一部を改正する条例

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の制定に伴い、条例の一部を改正しました。

●伊達市下水道条例の一部を改正する条例

下水道法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い改正しました。

●伊達市伊達情報ネットワーク複合施設館条例の一部を改正する条例

図書館会議の委員の任命基準及び会議の開催について定めました。

●伊達市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例

奨学資金の貸与額の変更について改正を行いました。

●伊達市立学校施設使用料条例の一部を改正する条例

保原小学校の改築に伴い、講堂及びサブアリーナの使用料を追加しました。

●伊達市公民館条例の一部を改正する条例

震災に伴い危険となった伊達公民館を取り壊し、廃止することとなったことから、公民館施設から伊達公民館を削除しました。

●伊達市公民館施設の利用に関する条例の一部を改正する条例

伊達公民館の廃止に伴い、施設使用料等の項目を削除しました。

■食の安全・安心のための検査機関の設置を



佐藤 直毅 議員

Q 現在、農地の除染や米の作付け制限、検査体制の強化、新たな食品の規制値により、食の安全はより確保されてきていますが、地産地消の推進や伊達市の農業復興を考えれば、食の安心

への取り組みも重要と考えます。国・県と協力して独立し検査機関の設置や安全の認定表示の実施など、今後の食の安心への取り組みについて伺います。

A 安心への取り組みにおいては、消費者への情報発信が大切であると考えます。このために食品の非破壊検査と全量検査体制を整備して、これらの安心を証明するような機関の設置あるいは整備が必要と考えます。

■「成年後見制度」の取り組みについて



大條 一郎 議員

Q 成年後見制度は、本人（認知者など）が遺産分割の協議などをする際に、判断能力がないことで不利益を被ることがないように、家族のほか弁護士や司法書士、社会福祉士などが成年後

見人として本人の財産や権利を守るものです。今後の取り組みについて伺います。

A ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者の増加に伴いまして、成年後見制度の必要性は高まるものと考えております。民生委員や地域包括支援センターなどと連携しながら、さらに推進してまいりたいと考えています。

Q 成年後見制度への取り組みについて市長の考えを伺います。

Q 伊達市では現在約1000人以上が避難している状況です。避難者の所在確認や避難者への情報提供、コンタクトの有無、帰還に向けたアンケート調査の実施など、避難者の帰還へ向けた取り組みについて伺います。

A 4月から新たに市民生活課に係を設け、避難者への支援を担当することになるかと思えます。

A これからの認知症対策というのは難しいところもあるんですけども、やっぱり社会的な中で財産問題というのは、極めていろいろな問題を含んでおりますので、そういう意味での成年後見制度というのは重要だと認識しています。

「屋内遊び場」の設置について

Q 子供たちが安心して遊ぶ場所を確保するため、屋内遊び場の設置が必要と存じます。当局の見解を伺います。

A 24年度のできるだけ早い時期に屋内遊び場というところで設置を考えていきます。

■補正予算

●平成23年度伊達市一般会計補正予算（第8号）

4億3718万9千円を増額し、予算総額345億6279万1千円としました。

歳入で主なもの、国庫支出金 減額2億9590万2千円、県支出金 増額8億9914万1千円、繰入金 減額1136万5千円、諸収入 増額1億6533万9千円、市債 減額3億1310万円

歳出で主なもの、震災に係る災害復旧事業費は減額7547万1千円、放射能対策費を含む災害対策費減額 3億2735万5千円、その他市債繰上償還等増額1億2850万円

●平成23年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

歳入は、交付額決定により国庫支出金、県支出金が減額となったほか、過去3年間の医療費の高額化による共同事業交付金の増額及び国保事業安定化支援事業繰入金見込額等の増額による一般会計繰入金の補正。

歳出は、一般管理費の予算整理、人件費補正による減額及び支出見込額の精査による一般被保険者療養費、葬祭費、共同事業拠出金等の増額による補正。補正総額 増額1656万3千円、予算総額75億510万8千円

●平成23年度伊達市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

保険基盤安定負担金の確定により、一般会計から繰り入れる額を減額。補正総額 減額302万8千円

●平成23年度伊達市介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入の補正は、東日本震災による介護保険料の減免額の見込額による介護保険料の減額、介護給付費交付金の確定による減額及び一般会計繰入金金の減額補正。

歳出の主な補正は、実績見込額精査による保険給

付費等の減額及び介護給付費準備基金積立金の減額補正。

補正総額 減額11万9千円

●平成23年度伊達市梁川簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入の主な補正は、水道加入者減による加入金の減額、事業費精査による国庫補助金の減額及び市債の減額等による補正。

歳出では、事業費精査による維持管理費の減額、建設改良費の減額及び公債費の減額による補正。

補正総額 減額412万8千円

●平成23年度伊達市月館簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入の主な補正は、事業費精査による国庫補助金の増額、一般会計繰入金等の増額及び市債の減額による補正。

歳出では、事業費精査による建設改良費の減額及び公債費の減額による補正。

補正総額 133万2千円

●平成23年度伊達市公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)

歳入の主な補正は、下水道使用料の減額、災害復旧費国庫負担金の減額、一般会計繰入金金の追加、雑入の追加、下水道事業債の減額及び災害復旧事業債の減額等による補正。

歳出では、下水道管理費の減額、下水道建設費の減額及び下水道災害復旧費の減額による補正。

補正総額 減額1799万2千円

●平成23年度伊達市栗野地区農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)

歳入は、財政調整基金利子の追加による補正。

歳出は、財政調整基金積立金の追加による補正。

補正総額 増額8万7千円

●平成23年度伊達市月館宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)

宅地売払収入の減額に伴う一般会計繰入金金の補正。

補正総額 減額25万8千円

●平成23年度伊達市梁川財産区特別会計補正予算(第2号)

基金利子額の確定による補正。

補正総額 増額2千円

●平成23年度伊達市白根財産区特別会計補正予算(第2号)

基金利子額の確定による財源調整。

補正総額 変更なし

●平成23年度伊達市富野財産区特別会計補正予算(第2号)

基金利子額の確定による補正。

補正総額 増額4千円

●平成23年度富成財産区特別会計補正予算(第2号)

基金利子額の確定による補正。

補正総額 増額2万9千円

●平成23年度伊達市大字掛田財産区特別会計補正予算(第2号)

基金利子額の確定による財源調整。

補正総額 変更なし

●平成23年度伊達市水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収入の主な補正は、雑収益等の増額による補正。

資本的収入の主な補正は、工事負担金等の減額による補正。

資本的支出の主な補正は、配水施設整備費等の減額による補正。

補正総額

収益的収入 増額1806万8千円

資本的収入 減額712万8千円

資本的支出 減額3112万9千円

■当初予算

●平成24年度伊達市一般会計予算

予算総額 487億8007万円

前年度比 増額218億8757万円

放射能対策事業費 238億9254万1千円

放射能対策事業以外 248億8752万9千円

●平成24年度伊達市国民健康保険特別会計予算

予算総額 76億1884万5千円

前年度比 減額8374万円

●平成24年度伊達市後期高齢者医療特別会計予算

予算総額 6億2458万5千円

前年対比 増額1401万9千円

●平成24年度伊達市介護保険特別会計予算

予算総額 52億9058万1千円

前年度比 増額2億5876万円

●平成24年度伊達市梁川簡易水道事業特別会計予算

予算総額 1億6572万円

前年度比 減額3099万4千円

●平成24年度伊達市月館簡易水道事業特別会計予算

予算総額 1億9516万5千円

前年度比 増額830万7千円

●平成24年度伊達市公共下水道事業特別会計予算

予算総額 12億2482万2千円

前年度比 増額5088万4千円

●平成24年度伊達市栗野地区農業集落排水処理事業特別会計予算

予算総額 1426万6千円

前年度比 減額26万2千円

●平成24年度伊達市工業団地特別会計予算

予算総額 611万円

前年度比 増額3千円

●平成24年度伊達市月館宅地造成事業特別会計予算

予算総額 1140万2千円

前年度比 増額25万4千円

●平成24年度伊達市各財産区特別会計予算(14財産区)

予算総額 22億124万円

前年度比 増額923万3千円

(収益的支出 14億5624万9千円
資本的支出7億4499万1千円)

人事

●伊達市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、石川金吾さん(保原町)、菅井壽さん(梁川町)、羽賀芳一さん(伊達町)を選任することに同意しました。

●人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
人権擁護委員の任期満了に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者を推薦するにあたり、馬場誠さん(月館町)を適任

であるとして、推薦しました。

●伊達市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて

教育委員会委員の任期満了に伴い、大田康一さんを任命することに同意しました。

■その他

●伊達市指定金融機関の指定について

2年交替の指定金融機関の交替時期を4月1日から10月1日に変更するため、所要の改正をしました。

■決算

●平成23年度伊達市病院事業会計決算認定について

●平成23年度伊達市訪問看護事業会計決算認定について

平成23年9月をもって両事業会計とも終了し、決算が認定に付され、いずれの会計も認定するものとなりました。

■議員発議

3月定例会で可決した次の意見書を政府関係機関等に提出しました。

●「福島復興再生特別措置法案」の拡充及び早期成立を求める意見書

内容

1、福島県が取り組む18歳以下の医療費無料化について、永続的に取り組めるよう、基金の特例等の必要な措置について明記すること。

2、放射線被ばく起因すると思われる

健康被害が将来発生した場合、医療や福祉等にわたる措置を総合的に講じる旨、明記すること。

3、除染に伴い生じた廃棄物を保管するための中間貯蔵施設の設置にあたっては、当該施設を最終処分場としないことを明文化するとともに、施設整備に必要な法制上の措置を講じること。

4、復興交付金の活用にあたっては、原子力災害という特殊事情を十分踏まえ、交付金の対象地域に福島県内のすべての地域が含まれるようにするための措置を講じるとともに、対象事業に

についてはハード・ソフト両面にわたり柔軟に活用できる旨、明記すること。

●福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

1、福島県の最低賃金を「雇用戦略対話」における政労使合意内容に沿った引き上げを図ること。

2、一般労働者の賃金引き上げが4月であることから、福島県最低賃金の改定諮問を早期に行い、発効日を早めること。

●防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の維持を

求める意見書

1、防災対策など住民の安心・安全を確保するために、必要な国の出先機関・独立行政法人の体制・機能の維持を図ること。

2、国土交通省各出先機関をはじめ、国の出先機関の廃止又は地方移譲については、拙速に結論を出すことを避け、国民生活に対するメリット・デメリット、財源問題、広域的危機管理対応などの情報を事前に開示し、全国の市町村を含めて十分な議論を経た後に結論を出すこと。

みなさんからの請願・陳情

3月定例会で受理した請願8件、陳情3件でした。所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果は以下のとおりです。

請 願

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
採 択	伊達市保原町一級河川古川東側市道西町6号線の道路舗装整備に関する請願書	伊達市保原町字西町西町町内会長 安倍幸夫 ほか90名
不採択	「特例水準解消」による公的年金削減に反対する意見書の提出を求める請願書	全日本年金者組合伊達支部 支部長 菅野顕光
採 択	市道棚塚線視距改良についての請願書	伊達市梁川町大関字鹿の子町内会長 小賀坂祐逸 ほか1町内会長
採 択	市道34151号の整備に関する請願書	伊達市保原町所沢字大黒内町内会長 佐藤義信
採 択	日向前団地全域の除染を実施することに関する請願書	伊達市靈山町掛田日向前団地行政区長 菅野光雄
採 択	特定避難勧奨地点のある地区の税目等及び医療費の免除を求める請願書	伊達市靈山町上小国区民会 会長 菅野康男 ほか1区民会長、2区長1地区住民代表
採 択	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	日本労働組合総連合会福島県連合会 伊達地区連合会議長 萩原善徳
不採択	子どもたちが水害への不安を持たずに、安心して学ぶことができる梁川小学校建設に関する請願書	伊達市梁川町萩原征治 ほか17名

陳 情

採決の結果	陳 情 件 名	陳 情 者
採 択	防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	国土交通労働組合東北地方協議会 議長 後藤明広
趣旨採択	特定避難勧奨地点地区、伊達市靈山町上小国中島方部会の宅地除染にともなう仮置き場設置等についての陳情書	伊達市靈山町上小国中島方部会 会長 菅野喜周 ほか2副会長
採 択	「福島復興再生特別措置法案」の拡充及び早期成立を求める陳情書	伊達市保原町大竹進二